

令和8年度 学校関係者評価結果について

令和8年6月 沼津市立看護専門学校

本校が自らの教育活動その他の学校運営について組織的・継続的に改善すること、信頼される開かれた学校づくりを進めること、教育の質を保証し、その向上を図ることを目的に、学校関係者評価委員会から、令和7年度学校運営評価（自己点検及び自己評価）に対する評価やご意見をいただきました。

I 学校関係者評価委員会

開催日 令和8年6月15日(月)
場 所 沼津市立看護専門学校1階会議室
委 員 碓谷 明正 沼津市 元副市長
勝山 智男 国立行政法人国立高等専門学校機構
沼津工業高等専門学校 名誉教授
杉山 智美 沼津市立病院 看護部長
勝又 陸 沼津市立看護専門学校 卒業生
(敬称略)

2 令和7年度学校運営評価に対する委員の評価

カテゴリー	R7 学校運営評価	委員の評価・意見等
I 学校経営	2.096	近隣校と入学希望者の奪い合いが生じている中で、指定校の拡大など入試方法の多様化や高校訪問などの努力により、入学定員数確保の結果がある。国家試験の合格率、県内就職率100%を達成していることは評価でき、安定した学校運営が行われていると判断する。
II 教育課程・教育活動	2.404	AIやSNSなど学生をめぐる情報環境が激変しており、情報リテラシー教育について、毎年、定期的な開催が必要であり、また、講義資料や実習記録などのSNS投稿の禁止を具体的に示す必要がある。 今後も、情報倫理や医療職としての自覚を育てる教育を継続していくことを期待する。
III 入学・卒業対策	2.397	国家試験合格率100%や高い近隣就職率など、重点目標を達成している一方で一般入試における辞退率71%は高く感じた。大学進学が増えている状況で様々な取り組みを行っているとは評価している。 卒業生の多くが市内・県内の医療機関へ就職しており、地域医療への貢献は大きい。留年学生が出ていることから、学習面でつまづきやすい学生への早期支援や個別支援体制のさらなる充実を期待する。

カテゴリー	R7学校 運営評価	委員の評価・意見等
Ⅳ 学生生活への支援	2.205	<p>学生を犯罪から守るための研修指導をさらに充実していくと良い。</p> <p>学生に対する経済的、健康面、課外活動支援など適切に対応している。</p> <p>学生生活への支援について、適切に取り組まれており、引き続き、学生が相談しやすい環境づくりを期待する。</p>
Ⅴ 管理運営・財政	2.346	<p>近年の津波警報や注意報、新たな防災気象情報に対するマニュアル見直しなど適切な対応を行っている。</p> <p>学生満足度調査を活用し、学生と教職員がより良い学校体制を検討する姿勢がみられる点を評価する。今後も調査結果を具体的な改善につなげていくことを期待する。</p>
Ⅵ 施設設備	2.338	<p>電子教材への切り替えや無線 LAN 環境の整備、Google Classroom など ICT 化の環境が進められるとともに、グループ学習室など学生の勉強環境が優れていると感じた。また、学内の施設が快適で清潔に保たれており、学生生活への支援についても適切に取り組んでいると評価できる。図書室についても、電子教材とあわせ、学生が活用しやすい環境づくりを期待する。引き続き、学生が相談しやすい環境づくりの整備をお願いしたい。</p>
Ⅶ 教職員の育成	2.064	<p>職員の授業の公開や評価会の仕組みが定着しており、育成に向けた取り組みは評価できる。教職員の自己研鑽や研修参加は、教育の質を維持・向上するうえで重要であると思われるため、業務多忙の中でも、研修参加や学びの機会が確保される体制づくりを期待する。</p> <p>また、AI の活用について、教職員がその特性や限界を理解し、教育活動や業務改善に適切に活用していくことを期待する。</p> <p>研修時間の確保が課題であり、教職員はみな多忙である。その中で大勢の人が積極的に参加できる、したくなるような研修の検討をお願いしたい。</p>
Ⅷ 広報・地域活動	2.423	<p>HP パンプともわかりやすい。</p> <p>知名度の低さの説明があったが、様々な取り組みを工夫しており評価できる。また、ホームページやパンフレットの刷新など、学校の魅力を発信する取り組みが進められており、今後も地域の医療機関や進学希望者に向けた情報発信の充実を期待する。</p>

3 学校運営に対する改善提案等

- 患者情報等を扱うので SNS 等情報リテラシー教育の実施が必要。
- 若者が特殊サギ加害者になっているケースが多いので、警察等に講演を依頼すると良い。
- SNS や動画を活用した学校紹介の強化。
- 定員 30 名に対し、卒業生数が 20 名台で推移しており、学習面で支援を必要とする学生や留年者も一定数生じていることから、学習支援・生活支援・進路支援を含めた学生に対する支援体制のさらなる充実策。
- SNS 等における個人情報の取り扱いや AI の活用は、今後の医療職に必要な重要課題であるため、教職員と学生がともに理解を深め、安全で適切に対応できる教育体制づくりの検討。
- 学校運営評価委員会において、課題に対する原因分析や次年度に向けた具体的な改善策の提示。